

# 寄せられた意見

No. 43-1

受付日	H17. 6. 24	年齢		居住 市町村名	
件名					

天塩川流域委員会の皆様

前略

私どもは5月13日、13団体の連名で、貴委員会に対し意見書をお送りし、意見聴取会において、河川環境や漁業に重大な影響を与えるのみならず、治水効果や水道料金に関しても大きな疑義が指摘されたサンルダム建設計画について、十分な資料にもとづいてきちんと議論ができる「検討の場」を設けていただくよう、要望いたしました。また旭川開発建設部には、検討のもとになる資料の開示を求めています。

しかし、いまだに、どちらからも何も回答を受け取っておりません。私どもといたしましては、次回の流域委員会において、貴委員会のもとに「検討の場」を設置することをぜひお決めいただき、いちど造ってしまえば、天塩川流域の未来に重大な悪影響を及ぼすサンルダムの問題について、貴委員会が十分な議論をつくすことができるよう、ご配慮いただきたいと存じます。

同封いたしましたのは、天塩川の治水・流域環境とサンルダムの問題に対して、私どもの基本的な考えをまとめたパンフレットでございます。これについても、貴委員会のなかで、委員の皆様みずからが検討して下さることを期待しております。

流域委員会の各委員は、開発局によって一方的に選ばれたとはいえ、天塩川流域の未来を決定する重要な責務を負った方々です。これだけの問題が出てきている以上、事業を推進しようとする開発局の主張だけを聞き、それに疑義を呈する意見を聞かないということは公正性や意思決定における透明性を欠くこととなります。これは河川法の精神に反することといえます。

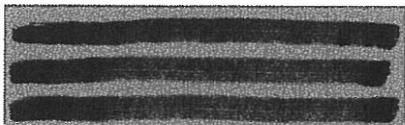
事業者である旭川開発建設部は、多くの重大な問題が提起されているにもかかわらず、今回の貴委員会にサンルダムを含む整備計画原案を提出することですが、委員の皆様におかれましては、流域委員会におい私どもが提起している問題点を徹底的に検討していただきたく、また委員会のなかではそれが十分にできない場合は、貴委員会のもとに「検討の場」を設置して議論を尽くして下さるよう、重ねてお願い申し上げます。

草々

2005年6月23日

サンルダム建設を考える集い、下川自然を考える会、名寄サンルダムを考える会、大雪と石狩の自然を守る会、旭川・森と川ネット21、ネットワーク旭川「地球村」、遊楽部川の自然を守る会、自然・文化ネットワーク、NPO 法人 北の森と川・環境ネットワーク、サンル川を守る会、北海道の森と川を語る会、社団法人 北海道スポーツフィッシング協会、社団法人 北海道自然保護協会

なお連絡先は下記にお願いいたします。

  
 北海道の森と川を語る会 代表 

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています。

# 寄せられた意見

No. 43-2

受付日	H17. 6. 24	年齢		居住 市町村名	
件名					

Save the Sanru,  
Save the Cherry Salmon !

サクラマスの子ども

## 未来の子どもたちに サル川と サクラマスを残そう!

サル川上流まで上ってきて産卵するサクラマス

調査されたどの区間でも  
産卵床が密に分布

サルダムによる水没域

凡例  
 ● 調査期間(02-05)  
 ○ 平成12年度  
 ○ 平成13年度  
 ○ 平成14年度  
 ○ 平成15年度

サルダム建設予定地の  
上流はサクラマスたちの  
北海道有数の産卵場所

旭川開発建設部調査による 平成12-15年のサル川での産卵床

# 寄せられた意見

No. 43-3

受付日	H17. 6. 24	年齢		居住 市町村名	
件名					

②

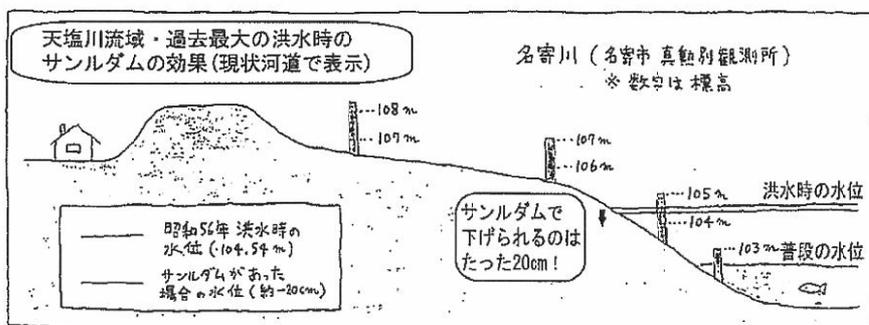
## サンルダムの集水域は天塩川全流域のたった3%



サンルダムは、天塩川の支流・名寄川の、さらに支流のサンル川につくられようとしています。ダムより上流の集水域の面積は、天塩川の流域全体のわずか3%にすぎません。ここにだけ大雨が降れば、サンルダムは役に立つかもしれませんが、そんなことはほとんどありません。

上図のように、天塩川の中流～下流域で降る大雨には、サンルダムは全く役に立ちません。

下図のように、たとえサンルダムが効果を発揮したとしても、それで下げられる水位は、名寄市付近ではせいぜい10～20cmなのです。堤防を高くしたり、あふれやすい場所に遊水地をつくった方がはるかに効果的なことがわかるでしょう。



# 寄せられた意見

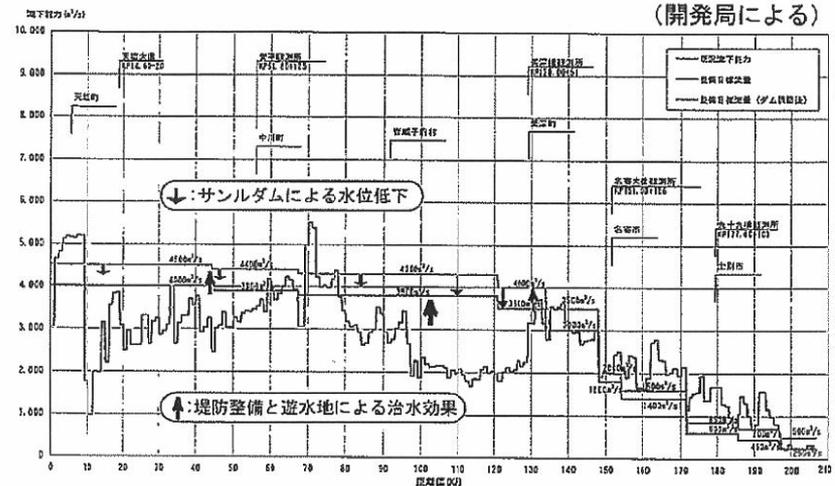
No. 43-4

受付日	H17. 6. 24	年齢		居住 市町村名
件名				

③

わずかしか水位が下げられないサドルダムより  
堤防整備と遊水地で効果的な治水を！！

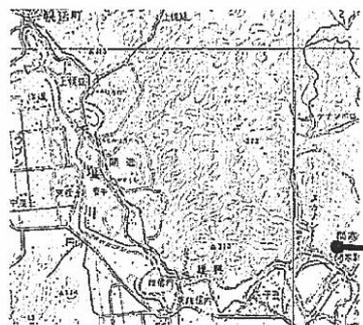
47 治水 サドルダム+河道改修による治水対策案(天塩川) 47



天塩川流下能力図

上図は、開発局のサドルダムによる治水案です。しかし、現在の天塩川が洪水を流せる量は下の折れ線までですから、いくらサドルダムをつくっても、わずかな水位低下では洪水はとてつけないことがわかります。まず堤防が低いところを高くし、あふれやすいところは遊水地で対処した方がはるかに効果的な治水対策なのです。

音威子府の市街は、遊水地で守ることが可能



天塩川中流～下流部の旧川は、遊水地にすれば下流域の治水と旧川の水質浄化に役立つ





# 寄せられた意見

No. 43-6

受付日	H17. 6. 24	年齢		居住 市町村名	
件名					

⑤



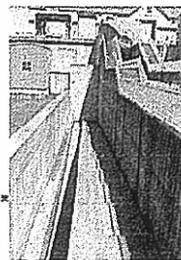
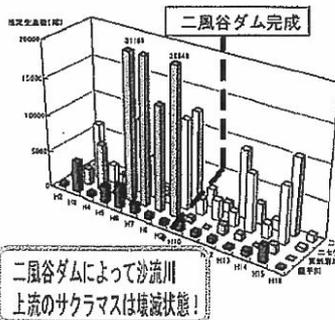
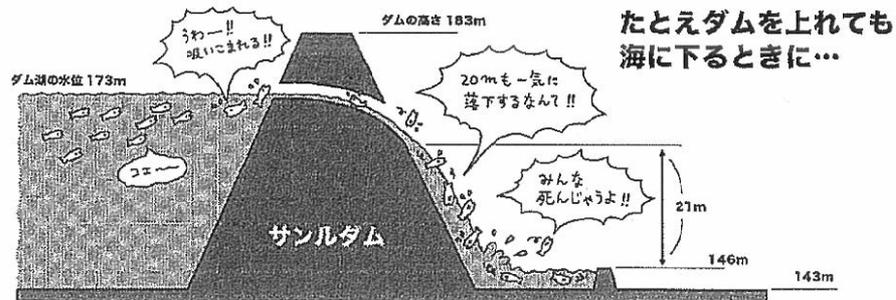
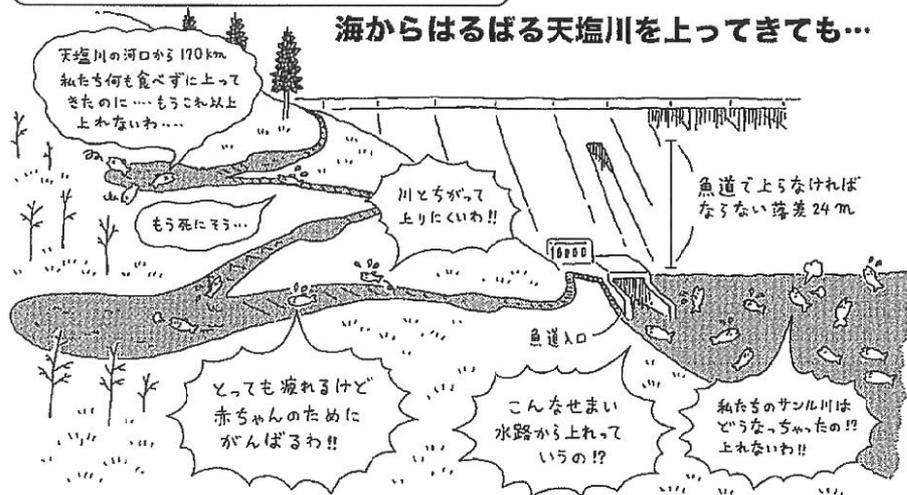
# 寄せられた意見

No. 43-7

受付日	H17. 6. 24	年齢		居住 市町村名	
件名					

⑥

## サクラマスを殺すサンルダム



開発局ご自慢の魚道があるのに

アメリカでは、魚道をつくってもサケ・マスが上れないので、ダムの撤去が始まっています。

大塚：ハインツ 著者：松本・沼見センター「ダム撤去」(発行：環境省)  
 発行：第一「ダムに阻まれる」(発行：環境省)  
 平成16年国土交通省河川開発調査委員会資料

# 寄せられた意見

No. 43-8

受付日	H17. 6. 24	年齢		居住 市町村名	
件名					

⑦

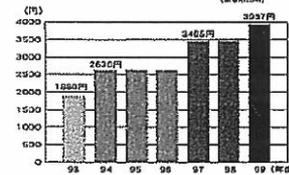
## サンルダム建設で名寄市の水道料金も2倍になる?!

2005年5月11日のNHK・TV「クローズアップ現代」で放映されたように、帯広市の水道料金は、札内川ダム建設によって、6年間になんと2倍にも値上げされました。これは、860億円にのぼるダムの建設費用と、320億円にのぼる給水施設への負担金によるものです。

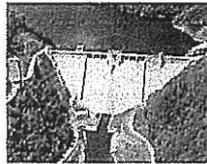
サンルダムの建設費用は530億といわれていますが、これは平成6年換算であり、すでに10年も前の試算です。巨大な魚道の建設費や、漁業対策費などを含めれば、実際のサンルダムの建設費ははるかに多くなるでしょう。千歳川放水路計画では、長いこと、建設費は2100億と言われてきましたが、途中から一挙に4900億と、2倍以上になったことは、まだ記憶に新しいところです。

なぜ帯広市や名寄市はそんなダム計画に賛成したのでしょうか。それは将来の人口増加を見込んだからでした。しかし、どちらの町も、人口は増えるどころか減少しています。これからますます高齢化する名寄市の皆さん、高い水道料金を支払ってまで、サンルダムをつくっていいのですか？

帯広市の水道料金の推移



札内川ダム  
(1988年着工、  
1998年完成)



## 未来の子どもたちに私たちは何を残すべきでしょう？

サンルダムの目的である治水には、遅れている堤防の整備と、あふれそうな場所での遊水地の造成が最も効果的です。1400KW足らずの発電は、風車一基の建設ですみます。十分な水道水をもっている名寄市は、料金を値上げしてまで新たな水道水を確保する必要はありません。ダムの目的には、「河川環境の保全」、「流水の正常な機能の維持」がうたわれていますが、自然の川をせきとめ、魚を上れなくし、土砂をとめて下流や海岸で侵食を引き起こすダムは、むしろ河川の正常な機能を壊すものです。

未来の子どもたちのために、このサンル川とサクラマスたちをそっくり残すこと。

それが私たちの責務ではないでしょうか。天塩川は「北海道遺産」です。自然のままにゆったりと流れる天塩川だからこそ、「北海道遺産」に選ばれたのです。天塩川・サンル川の自然を、カヌーや釣り、野鳥観察などに生かしたエコツーリズムを考えましょう。

森づくりやバイオマス利用を促進する下川町を私たちは応援しています。CO<sub>2</sub>の排出削減で日本一の町になれるかもしれません。でもサンルダムをつくれば、工事や走り回るダンプの排気ガスだけで、せっかく減らしたCO<sub>2</sub>も帳消しです。しかも「自然環境を大事にする下川町」のイメージは決定的に損なわれてしまうのです。

——— このパンフレットは下記の団体・個人のご協力で作りました。———

サンルダム建設を考える集い；下川自然を考える会；名寄サンルダムを考える会；大雪と石狩の自然を守る会；旭川・森と川ネット21；環境ネットワーク旭川『地球村』；遊楽部川の自然を守る会；自然・文化ネットワーク；NPO法人 北の森と川・環境ネットワーク；サンル川を守る会；社団法人・北海道スポーツフィッシング協会；社団法人・北海道自然保護協会十はた万次郎(イラスト)

いくらでもけっこうです。カンパをお願いします。郵便振替口座 02760-0-5814「北海道の森と川を語る会」宛  
TEL・FAX：011-706-4866 北海道の森と川を語る会 発行：2005年6月18日

# 寄せられた意見

No. 43-9

受付日	H17. 6. 24	年齢		居住 市町村名	
件名					

## 名寄市への洪水の危険を増大させるサンルダム

天塩川支流・名寄川の支流に計画されているサンルダムは、洪水の際に、ゲート操作によるコントロールを行わない自然調節式ダムです。穴を開けたバケツに上から水を注いだときのように、ダムの放流量は、そのときのダム湖の水位によってのみ決まります。

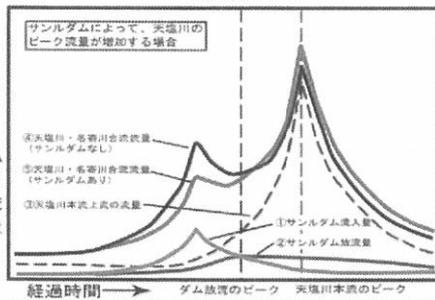
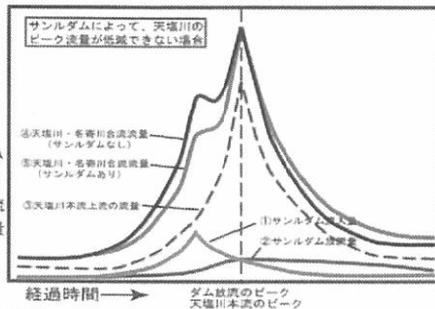
大雨の時、サンルダムは入ってきた水をためますが(①)、同時に放流量も増え始め、流入量と放流量が等しくなった時が放流量のピークになります。その後も放流量の方が多くなる時間が長く続きます(②)。

天塩川本流は、サンル川や名寄川に比べて流域面積が大きいので、多くの場合、天塩川本流の洪水ピーク(③線の破線)は、サンル川、名寄川の本来の洪水ピークから、数時間遅れて名寄市街地に到達します。

上図のように、サンルダムの放流ピークの到達と、天塩川本流の洪水ピークの到達が重なった場合には、サンルダムがないとき(④)と、あるとき(⑤)のピーク流量は同じで、サンルダムは、名寄川合流点付近の天塩川の洪水ピーク流量を下げる効果はまったくもたしません。

下図のように、サンルダムの放流ピークよりも、天塩川本流の洪水ピークの到達が遅い場合には、ダムがないとき(④)よりあるとき(⑤)のピークが高くなり、かえって危険になります。

サンル川、名寄川、天塩川の洪水の到達時間のずれや流量差を考慮すると、サンルダムは、名寄市街地付近の天塩川の治水にはまったく効果がないか、逆にダムによって水害の危険を高めるおそれさえあるのです。



## 天塩川の治水には遊水地が有効



大きく蛇行していた天塩川には、いたるところに旧川が残っており、遊水地に利用できます。左上のように、旧川にふだんから水をため、洪水時には川からさらに水を引き入れるタイプでは、旧川が本流とつながるので、水質がよくなり、魚もすめるようになります。釣りやカヌーの観光に最適です。

右上のタイプの遊水地では、これまでと同じように農業ができます。農家は土地を買い上げてもらったり、借り上げてもらったうえで、さらに耕作も続けられるのです。10-20年に一度は水がつくかもしれませんが、協定を結べば、さらにそのときの補償も可能になるでしょう。農家にとっては魅力的な遊水地です。

堤防整備と遊水地造成は、天塩川の全流域で、できるだけ平等に行いますから、すべての地域の土産業に仕事の機会ができます。ダムと異なり、地元の業者が主役になれる事業です。また、ダム計画が中止されたときには、群馬県の戸倉ダムのように、地元で補償ができています。すでに造った道路は、サンル川周辺の湿地を利用したエコツーリズムに大いに活用しましょう！